



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	19,652	5.8	595	41.7	950	135.7	348	—
2021年3月期第2四半期	18,575	△16.4	420	17.5	403	△18.1	△9	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,505百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △66百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	83.89	—
2021年3月期第2四半期	△2.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	57,946	33,044	52.4
2021年3月期	56,215	31,909	52.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 30,375百万円 2021年3月期 29,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.9	1,500	31.9	1,750	28.2	900	—	216.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	4,522,933株	2021年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	360,235株	2021年3月期	371,984株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	4,155,783株	2021年3月期2Q	4,149,125株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞局面から、アメリカや欧州では景気に持ち直しの動きが見られたものの、中国では景気回復に鈍化が見られ、依然として不安定な状況が続きました。

一方、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだことにより緩やかに回復しつつあるものの、未だ感染症の完全な収束の見通しは立っておらず、本格的な回復には至らない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界・造船業界では、需要回復の兆しが見られるものの、依然として市況は低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現」に向けた取組を継続し、売上高は増加しました。また、前年発生したブラジルリアル安に伴う大幅な為替差損が本年は解消されたことや、当社国内外の連結子会社において新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金を受給したことなどにより、経常利益は大幅に増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億52百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は5億95百万円（同41.7%増）、経常利益は9億50百万円（同135.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億48百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失は9百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、新型コロナウイルス感染症の影響により顧客訪問が制限されたなか、WEB展示会の開催や切断機の「健康診断活動」の実施などによる営業活動の強化や、新製品開発などに注力しましたが、国内外の市況が低調に推移したことにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は62億85百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は2億円（同40.5%減）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門では、当社の主需要先である建設業界・産業機械業界の市況に復調傾向が見られたことにより、産業用ガスの出荷数量は回復基調で推移しました。また、医療分野では新型コロナウイルス感染症の影響により、パルスオキシメーター、酸素濃縮器、酸素流量計などの販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は89億79百万円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益は7億49百万円（同160.2%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、溶接ロボットなどの設備投資需要の回復や、労働安全衛生法の改正に対応した作業環境測定機器や周辺機器の販売に注力したことなどにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は41億80百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は2億55百万円（同24.6%増）となりました。

その他

その他の部門においては、海外液晶パネルメーカー向け排ガス処理装置の販売が減少したことにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は2億6百万円（前年同期比45.9%減）、セグメント利益は15百万円（同79.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は579億46百万円で、前連結会計年度末比17億30百万円の増加となりました。

流動資産合計は308億69百万円で、前連結会計年度末比9億20百万円の増加となりました。これは主に仕掛品が8億5百万円増加、商品及び製品が5億26百万円増加、現金及び預金が2億35百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が9億24百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は270億76百万円で、前連結会計年度末比8億9百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が8億83百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は249億1百万円で、前連結会計年度末比5億95百万円の増加となりました。

流動負債合計は181億32百万円で、前連結会計年度末比5億50百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5億68百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は67億69百万円で、前連結会計年度末比45百万円の増加となりました。これは主に長期繰延税金負債が2億75百万円増加の一方、長期借入金が1億45百万円減少、長期リース債務が1億5百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は330億44百万円で、前連結会計年度末比11億34百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が5億92百万円増加、為替換算調整勘定が3億21百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は52.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は108億24百万円で、前連結会計年度末に比べ2億53百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは14億75百万円の収入(前年同期は6億44百万円の収入)となりました。これは主に減価償却費8億1百万円及び、売上債権の回収8億62百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは5億31百万円の支出(前年同期は8億24百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5億8百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは8億37百万円の支出(前年同期は8億56百万円の収入)となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出3億86百万円及び、長期借入金の返済による支出2億83百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,217	11,453
受取手形及び売掛金	10,013	9,089
電子記録債権	1,800	2,154
有価証券	325	199
商品及び製品	3,279	3,805
仕掛品	1,491	2,296
原材料及び貯蔵品	1,414	1,241
その他	689	877
貸倒引当金	△282	△247
流動資産合計	29,949	30,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,760	3,708
機械装置及び運搬具(純額)	1,080	1,022
工具、器具及び備品(純額)	686	838
土地	6,674	6,519
リース資産(純額)	1,283	1,136
建設仮勘定	112	177
有形固定資産合計	13,597	13,404
無形固定資産		
のれん	33	28
リース資産	3	5
その他	181	142
無形固定資産合計	218	176
投資その他の資産	12,450	13,495
固定資産合計	26,266	27,076
資産合計	56,215	57,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,646	6,215
電子記録債務	3,008	3,068
短期借入金	4,550	4,507
1年内返済予定の長期借入金	528	494
未払法人税等	281	362
賞与引当金	395	454
役員賞与引当金	55	25
受注損失引当金	25	10
製品保証引当金	106	95
建物解体費用引当金	13	21
その他	2,970	2,877
流動負債合計	17,581	18,132
固定負債		
長期借入金	2,117	1,971
役員退職慰労引当金	152	137
退職給付に係る負債	189	198
資産除去債務	15	15
その他	4,249	4,447
固定負債合計	6,724	6,769
負債合計	24,306	24,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,347	2,325
利益剰余金	20,173	20,195
自己株式	△881	△827
株主資本合計	25,667	25,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,202	2,795
繰延ヘッジ損益	△10	△15
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	353	674
退職給付に係る調整累計額	356	330
その他の包括利益累計額合計	3,770	4,653
非支配株主持分	2,471	2,668
純資産合計	31,909	33,044
負債純資産合計	56,215	57,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	18,575	19,652
売上原価	13,088	13,882
売上総利益	5,486	5,769
販売費及び一般管理費	5,066	5,173
営業利益	420	595
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	62	65
受取賃貸料	101	168
持分法による投資利益	20	0
物品売却益	17	32
為替差益	—	3
貸倒引当金戻入額	26	39
雇用調整助成金	5	116
その他	36	44
営業外収益合計	284	483
営業外費用		
支払利息	42	43
賃貸費用	34	72
為替差損	190	—
その他	34	12
営業外費用合計	301	129
経常利益	403	950
特別利益		
固定資産売却益	2	28
関係会社清算益	—	0
その他	0	—
特別利益合計	3	29
特別損失		
固定資産除売却損	6	2
減損損失	0	8
関係会社株式評価損	71	—
建物解体費用引当金繰入額	—	8
災害による損失	3	—
その他	1	5
特別損失合計	83	23
税金等調整前四半期純利益	323	955
法人税、住民税及び事業税	162	310
法人税等調整額	87	56
法人税等合計	250	367
四半期純利益	73	588
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	239
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	348

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	73	588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	602
繰延ヘッジ損益	4	△5
為替換算調整勘定	12	345
退職給付に係る調整額	△16	△25
その他の包括利益合計	△139	917
四半期包括利益	△66	1,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99	1,231
非支配株主に係る四半期包括利益	32	273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	323	955
減価償却費	794	801
株式報酬費用	8	6
減損損失	0	8
のれん償却額	7	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	△40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60	56
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	△30
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	0	△15
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△22	△13
建物解体費用引当金の増減 (△は減少)	△4	8
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△80	△15
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	24	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18	△17
受取利息及び受取配当金	△75	△77
支払利息	42	43
持分法による投資損益 (△は益)	△20	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	3	△26
関係会社株式評価損	71	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,855	862
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△510	△1,005
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,209	373
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△120	△27
災害損失	3	—
その他	△137	△200
小計	797	1,643
利息及び配当金の受取額	114	110
利息の支払額	△51	△48
法人税等の支払額	△212	△230
災害損失の支払額	△3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	644	1,475

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△231	△289
定期預金の払戻による収入	176	294
有形固定資産の取得による支出	△1,069	△508
有形固定資産の売却による収入	1	61
無形固定資産の取得による支出	△53	△15
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
投資有価証券の売却による収入	349	3
貸付けによる支出	△60	△10
その他	76	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△824	△531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	72	△25
長期借入金の返済による支出	△137	△283
長期借入れによる収入	1,600	103
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△402	△386
自己株式の取得による支出	△0	△103
自己株式の売却による収入	—	126
配当金の支払額	△248	△207
非支配株主への配当金の支払額	△27	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	856	△837
現金及び現金同等物に係る換算差額	119	148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	795	253
現金及び現金同等物の期首残高	9,085	10,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,881	10,824

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,599	7,619	3,975	18,194	381	18,575	—	18,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,599	7,619	3,975	18,194	381	18,575	—	18,575
セグメント利益	336	287	204	829	77	906	△486	420

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△486百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△594百万円、棚卸資産の調整22百万円、その他の調整額30百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	6,285	8,979	4,180	19,445	206	19,652	—	19,652
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,285	8,979	4,180	19,445	206	19,652	—	19,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,285	8,979	4,180	19,445	206	19,652	—	19,652
セグメント利益	200	749	255	1,204	15	1,220	△624	595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△624百万円には、セグメント間取引消去61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△638百万円、棚卸資産の調整△36百万円、その他の調整額△10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の機械装置部門の売上高が11百万円増加、その他の部門の売上高が29百万円減少、機械装置部門のセグメント利益が11百万円増加、その他の部門のセグメント利益が8百万円減少しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	4,876	91.7
高压ガス (百万円)	92	88.4
報告セグメント計 (百万円)	4,968	91.6
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	4,968	91.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	6,262	165.9	5,994	179.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	6,285	95.2
高压ガス (百万円)	8,979	117.9
溶接機材 (百万円)	4,180	105.1
報告セグメント計 (百万円)	19,445	106.9
その他 (百万円)	206	54.1
合計 (百万円)	19,652	105.8

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。